

やめようよ・ごみはだすだけ、あとは知らない。

嵐山町のごみの焼却は、小川町東小川団地の隣接小川地区衛生組合の焼却炉で燃しています。

■小川地区衛生組合は東小川団地との協定 = 今後建設しない **焼却炉老朽化**
 吉見町大串地区の焼却炉を建設予定

×30年前吉見町焼却炉建設予定地の裁判和解条項 = 今後、焼却炉を作ら;

■小川地区衛生組合の小川町長・嵐山町長・ときがわ町長・滑川町長・東秩父村長は、小川町民との約束は守っても、吉見町民の裁判の和解条項は、だんまり。……
 焼却炉建設予定地は、農地5ヘクタール
 地権者の一人は「今後も農業を続けるので反対」の申し入れをしました。
 農地に立ち入れない → 測量・環境調査ができない → 焼却炉建設はストップ。

吉見町に焼却炉建設を進めない。もう一度はじめから。



【新ごみ焼却場建設予定の負担金(環境アセスメント・測量・設計)を削減して
 もう一度考える・小中学校学年費の増など】 H28年度予算修正案(歳入歳出 60億円)提出。

政友会 = 否決 賛成 = 渋谷・川口・河井・清水 反対 = 吉本・森・佐久間・青柳・畠山・長島・吉場・松本・安藤

修正案の内容	町提案予算	渋谷・修正案	増減額
①埼玉中部資源循環組合負担金	1952万7千円	307万4千円	-1645万3千円
②廃棄物減量等推進審議会運営費	0円	90万円	+90万円
③子ども学年費	847万5千円	1651万円	+803万5千円
④部落解放同盟嵐山支部補助金	45万円	10万円	-35万円
⑤予備費	1696万6千円	2483万4千円	+786万8千円
歳出総額	60億6800万円	60億6800万円	0

- ①は、吉見町に建設予定の埼玉中部資源循環組合の負担金のうち、人件費を除いた金額を減額します。
- ②は、最初から町民の人も一緒にごみ処理のあり方を考える審議会をつくり再スタート。その経費です。
- ③は、小学生5千円、中学生1万円の教材費等の補助金を小学生1万円、中学生2万円に増額します。
 年間小学生1万円・中学生2万円の支援で、嵐山町では給食費・修学旅行、習字道具・体育着等以外は無償。
- ④は、部落解放同盟嵐山支部の補助金を45万円を10万円に減額します。

私は、自民党公明党議員に、町長与党で町長の政策維持にしがみつ়ことから一歩踏み出してほしい。
 今そして将来、嵐山町で必要なことは何かを嵐山町の議員として判断してほしい。

地方創生加速化交付金は 国が将来世代から前借りしたお金。

国が2060年の人口1億人を確保する ために
 出生率1.0の場合7659万人
 出生率2.0の場合1億874万人
 2014年の出生率 1.42(厚労省発表)

国は地方自治体に政策をつくらせ、その政策を国が適正と認めた場合 交付金を出す制度。
 H27年度国総額1000億円・28年度1000億円。(国と地方の借金総額1034兆円)

私は 将来世代から前借りするなら、国は子ども医療費無料化・教育の無償化に使ってほしい。
 将来世代からの前借りを返すために 嵐山町事業は、成功してほしい。

嵐山町には国が嵐山町を活性化できると認めた政策
 武蔵野小京都「嵐山町」版 観光・農業・歴史のつながりと仕事創造事業で
 地方創生加速化交付金4496万円、交付されました。

■嵐山町の地方創生事業は

1. ラベンダー畑の観光農園 = 千年の苑づくり「バーベキュー場の周囲10ha」
 計画策定費200万円・植栽・ポスター等1685万円・駐車場土地代・整備費1220万円
 H29 2ha → H32 10haの予定。ラベンダーが嵐山町の土地にあうといいですね。



2. らんざん地粉うどん「めんこ61」販売する事業 備品購入費604万円
 ☆ うどんの地産地消食堂から店舗出店に……働く人を20人に
3. 地域活性化チーム = 農業・観光・商業・工業・文化・スポーツをつなげ、若手集団をつくる。
 ☆ リーダー1名、メンバー9人 広告料57万8千円、旅費・研修費・人件費で、280万円
4. 情報発信するために 駅西側の壁を抜いて、旧プラットフォームに情報発信拠点施設を建設。
 ☆ 図面作成費162万円、測量設計委託1080万円
 ☆ 観光案内所・就労と居住の相談・駅の憩いの場
5. 杉山城跡を広く紹介
 ☆ 構想計画策定216万円、パンフレット製作費230万円、土地購入288万円
 ☆ 杉山城跡来客数 1500人/年 → 3000人/H32
6. ホームページを刷新 多言語化・スマートフォン対応に。 135万円